

県民の森だより 7月号

2014年7月号 宮城県陸羽町神谷沢字菅野沢41 県民の森管理事務所 TEL:022-255-8801

梅雨空の鬱陶しい日が続いていますが、今月の後半には梅雨が明けそうです。青少年の森では、アジサイの花の七変化を楽しめます。中央記念館の工事は予定通りの進捗で側壁や屋根の貼替えも終盤になりました。

7月のイベント情報

日	時	イベント名	集合場所	申込要件	参加料
7/2 (水) 16 (水)	10:00~12:00	※ノルディックウォーク & ミニ植物観察	県民の森	初心者第1水曜日 第3水曜日	レンタルポール350円 マイポール持参250円
7/2 (木) 満員御礼	9:00~14:00	低山探訪会	蔵王刈田駐車場	事前申込	300円
7/12 (土)	10:00~12:00	※万葉植物観察会	青少年の森	特になし	300円
7/13 (日)	10:00~12:30	もりもり教室	青少年の森	事前申込親子	13日:350円 27日:400円
27 (日) 満員御礼	10:00~13:30				
7/19 (土)	9:00~12:00	※季節を楽しむハイキング	県民の森	特になし	250円
7/26 (土)	9:30~13:00	※森の癒し体験	県民の森	特になし	500円

申込・問い合わせ：宮城県森林インストラクター協会 TEL：022-255-8223 ※は県民の森管理事務所：TEL：022-255-8801

中央記念館木質化工事の進捗状況



軒下天井やコンクリート柱を覆う木材にスギ板を、会議室や展示ホールなどの腰板にヒノキ板が使われるなど館内外に宮城県産の木材がふんだんに使用されています。また、記念館屋上には、太陽光発電

電のパネルが取り付けられました。透明ガラス入りのアルミサッシ枠が取り付けられた館内は、一段と明るくなりました。その他の工事も順調に進んでいます。9月末のリニューアルオープンをお待ちください。

(写真左から：太陽光発電設備取り付け、ホールアルミサッシ枠の取り付け、会議室腰板目録取付、トイレ内装)

季節の移ろい：サンコウチョウ&トチバニンジン



(写真は雄)

先月はサンコウチョウの飛来の問い合わせが通年より多くありましたが、雄の特徴のあるさえずりが頻りに聞こえるようになりました。林床ではトチノキに瓜二つのトチバニンジンが随所で控え目に佇んでいます。

サンコウチョウ (カササギヒタキ科) ・三光鳥

「ツキ(月)・ヒー(日)・ホシ(星) ホイホイホイ」と聞きなしたことから三つの光の名が付いたと言われています。しかし、どう聞いても三光を聞き取るには無理があり「フィチャー」としか聞こえません。なお、このさえずりは雄の縄張りの宣言です。雄雌ともにくちばしと目の周りはコバルトブルーですが、雄の中央尾羽の2枚は非常に長く体長の2倍ほどありますが、雌は雄のような長い尾を持ちません。

トチバニンジン (ウコギ科) ・栃葉人參 別名 チクセツニンジン

本種の葉は手のひら形でトチノキの葉に似ているのでトチ葉と名づけられ、花、実、葉が朝鮮人參によく似ているのでニンジンの名もつきました。ただし、その根は朝鮮人參とは似ていません。別名のチクセツニンジン(チクセツ)は根茎が竹の節に似ているためです。山地の林内の生える50~80cmの多年草で、直立した茎の先端部に球状の黄緑色の小さな花を多数つけます。秋には果実が真っ赤に熟すのでよく目に止まります。(写真：6/23撮影)



今月の万葉植物

ジャンヒゲ・ヤブラン (ユリ科) 山菅/やますげ/やますが



咲く花は 移ろふ時あり あしきの やますが 山菅の根 長くはありけり (大伴家持)

歌 意：「美しく咲く花でも色あせていく時期があるが、山菅の根は目立たないが長くしっかり伸び保っている。」家持が一族の凋落する渦中で、世に時めかずとも長く変わらずに有りたいとの願望を詠んだ歌。

花一口メモ：ジャンヒゲはリュウノヒゲとも呼ばれヤブランより葉幅は狭く、草丈も低く、夏期に淡紫色ないし白の小花を下向き数個つけます。根の球状のこぶを日干しにしたものは解熱・滋養・利尿などに薬効ありとされています。ヤブランはジュンランの葉に似ていることからランの名がつけましたがユリの仲間です。夏~秋に紫色の小花を穂状につけます。